



鶴丸城堀の蓮の花

2022TGALメルマガ7月号



カサブランカ

いつもメルマガをご覧いただき、ありがとうございます。

鹿児島地方気象台は27日、九州南部の梅雨明けを発表しました。
平年より早い梅雨明けで、梅雨の期間は史上最短を更新しています。
今年は猛暑や水不足等が心配な夏となりそうです。

7月7日の「クールアース・デー」は、みんなが地球を想う日です。
2008年のG8サミット（洞爺湖サミット）が日本で7月7日の
七夕の日で開催されたことを契機に定められました。

これは、天の川を見ながら、家庭や職場において、地球環境の大切さを
日本国民全体で再確認し、低炭素社会への歩みを実感するとともに、
それぞれができる地球温暖化対策の取組を推進するための日として
設けられたものです。実践してみたいはいかがでしょうか。

暑い季節になりますが、電力需給逼迫注意報も発令されたりしています。
節電に配慮しながら熱中症予防と夏を乗り切るための体力維持に
心がけましょう。

- ※1 [青文字下線](#)は、「Ctrlキーを押しながらクリック」すると、リンク先が見られます。
- ※2 このメルマガの内容は、興味のあるお知り合いの方に転送等されても構いませんので、お気軽にお使いください。
- ※3 このメルマガは社内掲示したり、閲覧したり、社内転送などを行って、社内の環境学習等にお役立てくだされば幸いです。

『ゼロカーボンシティかごしま推進計画』

鹿児島市は、2022年5月に「[ゼロカーボンシティかごしま推進計画](#)」を発表しました。

「[地球温暖化対策の推進に関する法律](#)」に基づく「地方公共団体実行計画」で、「[気候変動適応法](#)」にも対応しています。

なお、鹿児島県は2022年度末に発表予定です。

CO₂排出量の削減目標は以下のようになっています。(2013年度基準比)

現在：2018年度 28%削減

短期目標：2026年度 41%削減

中期目標：2031年度 48%削減

長期目標：2050年度 CO₂排出量実質ゼロ

4つの基本方針に基づき、施策は推進されます。

基本方針 1：CO₂排出量の削減

1. 省エネルギーの推進
2. 運輸部門の脱炭素化の推進
3. まちづくりと連携したCO₂排出量削減の促進
4. 森林整備等によるCO₂吸収源対策の推進

基本方針 2：再生可能エネルギーの地産地消の推進

1. 再生可能エネルギーの導入拡大
2. 再生可能エネルギーの地産地消に仕組みづくり
3. CO₂を排出しない二次エネルギーへの移行

基本方針 3：再生可能エネルギーの地産地消の推進

1. 3Rの推進
2. エネルギー源としての廃棄物の活用

基本方針 4：気候変動適応策の推進

1. 自然災害や自然生態系に対する影響への適応
2. 市民生活や健康に対する影響への適応

●「ゼロカーボンシティかごしま推進計画」で充実したい点

- ①市での総合的に分担しての推進が必要だが、市各部門の責任・権限が不明確。
- ②事業者・一般市民への要望はあるが、事業者・一般市民が意識・実践レベルを高め、実効を上げるための活動を推進する組織や具体的方策が不明確。

●TGALの連携・支援活動

- ①ゼロカーボンの必要性、具体的な進め方等の教育推進、情報支援 等
- ②事業所・家庭等現場での省エネ診断、身の丈に合う環境経営活動の促進 等

今後、さらにゼロカーボンに向けての動きは大きくなると思いますので、各地域での活動促進と連携をよろしくお願ひいたします。

KES 登録事業所訪問記 vol. 93

株式会社日建サービスセンター



会社風景

＜主な業務内容＞
ビルメンテナンス業
＜KES ステップ 1 登録日＞
2021 年 7 月



アルカリイオン水生成機

今回お邪魔したのは、鹿児島市新照院町にある株式会社日建サービスセンターです。

鹿児島市内及び加治木・伊集院方面を中心に、官公庁や病院・企業等のメンテナンスを行っています。

環境配慮事業

環境活動は、10 年ほど前から推進してきましたが、担当者が時間をとりにくくなったことと、事務所が賃貸であり省エネが進めにくいことや水・廃棄物・グリーン購入等の目標が限界になり、管理時間をさほどとらず、目標設定自由度の高い KES を導入しています。



充電型清掃機

ビル清掃には床の汚れ等の剥離剤として、従来強アルカリ性の化学物質を使用していました。環境配慮として 10 年前から、アルカリイオン水を生成し、剥離剤や洗剤に希釈して利用しています。PH13.1 と PH12.5 と使い分けし、除菌対策にも対応しています。

また、作業性を高めるために充電型の清掃機を活用しています。

環境改善の取組み

環境目標としては、水耕栽培の実施、エコドライブ自己評価の向上、仕事のマニュアル化を設定しています。

1. 水耕栽培の実施（生物多様性）

生物多様性について意識を高めるために、自社でミニトマト・秋咲クロッカス・ヒアシンスを季節ごとに種植えし、育ち方・手入れ具合などを写真・記録を取り、管理しています。

楽しみながらまた子どもの自由研究と連動させながら、順次水耕栽培の種類を変え、関係する人数を増やしていく予定です。



水耕栽培の記録

2. エコドライブ自己評価の向上

車の燃料は業務で移動する場所などによって大きく変動するので、「各人の車の乗り方を良くしていこう」と取り組んでいます。

現在、車に乗る6人を対象にエコドライブ10箇条の項目を毎月1あるいは0評価するようにしています。

社用車のエコドライブ評価

取り組むことによって、エコドライブ意識が向上したとのことですが、今後は評価後に互いの評価点の高いところ・低いところ等を話し合い、さらにスキルアップしていきたいとのことでした。

3. 仕事のマニュアル化

新人が入った時、ローテーションの時、導入教育を行います。

その時、マニュアルに基づき教育をしますが、改訂されていない場合や、マニュアルがない場合があります。



業務の標準化

そこで、新たに見直し、わかりやすいマニュアルを作成することを目標設定しています。

このことで、業務効率化され、間接的に環境負荷の削減につながっています。

これからの環境活動

KES活動を始めて1年。活動の定着を図るための掲示や情報発信を増やし、従業員への定着に努めています。

また、業務標準化など経営に直結する環境目標を継続していきたいとのことでした。

貴重なお時間に、取材へご協力いただき、本当にありがとうございました。



KES 新規・継続登録された事業所です

≪KES 継続登録事業所 5月≫ステップ1

事業所名	所在地	登録年月日	事業内容	訪問記
株式会社協和電気商会	鹿児島県 鹿児島市	2008/6/1	電気・消防・冷暖房設備工事・設計施工	



鹿児島県は、中小事業者が省エネ設備等導入を支援します！

11月月末まで補助金で経費の一部を助成すると6月27日に発表しました。
ただし、先着順で予算がなくなり次第終了します。

対象となる設備等

- ・省エネ設備（LED照明、空調設備等）
- ・エネルギーマネジメントシステム（EMS）機器 など

省エネ補助金：上限額：300万円

設備等の要件

- ・専門的な省エネ診断において提案されたものであること
- ・既存設備の更新であること（EMS機器等を除く）・新品（未使用品）であること
- ・国の補助金又は県の他の補助金を併用するものではないこと など

補助率

種類	認証・登録	補助率	補助上限額
EMS機器以外	あり	2分の1以内	300万円以内
	なし	3分の1以内	200万円以内
EMS機器	あり	2分の1以内	150万円以内
	なし	3分の1以内	100万円以内

注「認証・登録」とは、環境マネジメントシステム（ISO14001、エコアクション21及びKES・環境マネジメントシステム・スタンダードに限る。）の認証・登録をいいます。

交付窓口：一般財団法人鹿児島県環境技術協会 鹿児島県地球温暖化防止活動推進センター
お問合せ用 TEL：099-202-0128/FAX：099-284-6257
e-mail：hojyo@kagoshima-env.or.jp

受付時間 平日 8:30～17:00（12:00～13:00 除く）

補助金検討の事業所は、エネルギー管理士による省エネ診断等が必須となっていますので、フリーのエネルギー管理士3名が在籍する当NPO法人にご連絡ください。

なお、電気自動車等充電設備や発電設備・蓄電池等の補助金も同時に募集されています。

令和元年度補正・令和三年度補正「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進

補助金」の公募開始

業況の厳しい事業者や、デジタル・グリーン分野で生産性向上に取り組む事業者に対して、通常枠とは別に、[回復型賃上げ・雇用拡大枠] [デジタル枠] [グリーン枠]を新たに設け、補助率や補助上限額の優遇により積極的に支援します。詳細は公募要領等をご覧ください。

公募期間：応募締切：令和4年8月18日（木曜日）17時00分（11次締切）

詳細・HP：https://www.kyushu.meti.go.jp/support/2202/220222_1.html

エコテクノ2022 ～地球環境ソリューション展／エネルギー先端技術展～

「エコテクノ」では、2050年のカーボンニュートラルや、サーキュラーエコノミー実現を目指し、環境やエネルギー分野の課題解決に向けた先進的な製品・サービスを紹介します。

日程：2022年7月6日（水）～7月8日（金）（10:00-17:00、最終日 10:00-16:00）

場所：西日本総合展示場 新館（北九州市小倉北区浅野3-8-1）

サービス業販路開拓・生産性向上支援事業について

新型コロナウイルス感染拡大の長期化により、依然として鹿児島県内の卸小売業・飲食業・宿泊業・その他サービス業を営む事業者等が売上減少などの大きな影響を受けています。

こうした県内事業者の方が当面の需要や売上の回復が期待し難い中、ウィズコロナ・ポストコロナの時代の経済社会の変化に対応できるよう、新しい生活様式を踏まえ、需要の見込める新たな市場への販路開拓やIT化等の生産性向上を図るための支援を行います。

詳しくはこちらをご覧ください。https://www.pref.kagoshima.jp/af02/sangyo-rodo/syoko/shien/documents/87973_20220511152551-1.pdf

セミナー情報



「第21回九州低炭素システム研究会（セミナー）」の開催

九州経済産業局、九州大学、一般社団法人日本エネルギー学会西部支部では、「エコテクノ2022～地球環境ソリューション展／エネルギー先端技術展～」において、第21回九州低炭素システム研究会のセミナーを開催します。

政府は「2050年カーボンニュートラル」や「2030年度の新たな温室効果ガス排出削減目標」の実現に向けた課題に対して取り組んでいくこととしています。

この取り組みの一環である、カーボンリサイクル（CR）やCO₂の回収・貯留（CCS）、それを利用する技術（CCUS）等をテーマとし、国の現状・施策、研究、実例等の最新情報を紹介します。

日時：2022年7月6日（水曜日）13時30分～16時20分

場所：エコテクノ2022 会場外セミナー会場(AIMビル3F会議室)311・312

北九州市小倉北区浅野3丁目8-1（※西日本総合展示場新館_隣接）

定員：70名（定員に達し次第、締め切らせていただきます）

受講料：無料

主催：九州経済産業局、国立大学法人九州大学、一般社団法人日本エネルギー学会西部支部

詳細はこちら⇒https://www.kyushu.meti.go.jp/event/2206/220609_1_1.pdf

小さい企業でのゼロカーボン・SDGs推進のための

KESステップ1を活用した環境経営

気候変動対策のためのゼロカーボンまた持続可能な社会づくりのためのSDGsが、これから大企業だけでなく中小企業にも求められます。

20～30人以下の小さい企業が、それらの要請に対応し、身の丈に合う環境経営システムを用いて、経営体質を高めていく方法・事例を紹介します。

日時：2022年7月20日（水） 10:00～11:30

場所：かごしま環境未来館 2階研修室

講師：久留 正成（NPO法人エコサポート TGAL 理事長）

定員：10人（先着順）

受講料：無料

準備物：筆記用具、飲み物、マスク

申込締切：2022年7月18日（月）

詳細・HP：<https://www.tgal.org/report/seminar/220720.pdf>

おやまんくち

(地名は「大山之口」だが、地元の人はずいぶん呼ぶ。)

梅雨に入り、七色の紫陽花があちこちに咲いています。

鶴丸城のお堀の蓮の花も咲き始めました。

おやまんくちでは、カサブランカが華やかに咲いています。

鉄砲ユリや鹿子ユリが咲くのが待ち遠しいです。

ビワはたくさん取れましたが、今年は植樹して3年目の桃が30個ほど実をつけました。
ネットをしたので、鳥に食べられることなく無事収穫できました。

夏野菜は、種まきが遅かったのですが、キュウリ・枝豆・大根が順調に育っています。

おやまんくちの田圃は、作る人が高齢化して1枚しか植えられていません。

戦後は食糧不足で、もっと山深いところでも田圃が多く、集落の人たちが家族総出で田植えをしてにぎやかでしたが、今やうっそうとした森になっています。

集落の墓地は、人口減や高齢化で、墓石がかなり間引きされています。

梅雨になって、守り神のアマガエルが顔を出しています。

柴犬・蘭は親友のちび助とおやまんくちで遊んでいます、アトピーと肥満に悩み落ち込む
蘭に野性味たっぷりのちび助(雌)が元気づけていました。



アマガエル



ネットをされた桃の実



1枚になった田圃



元気出しなよ！

●環境・SDGsテレビ番組（添付資料）

7月の放映予定を添付します。（☆ホームページにも掲載します☆）

社内・ご家庭での環境学習にご活用ください。

☆活用方法☆

- ①社内に掲示 ②コピーして回覧 ③Eメールで社内送付
- ④環境テレビ番組を録画して全員で鑑賞学習
- ⑤家で見た環境・SDGsテレビの感想を話す ⑥顧客・他社・知人にも紹介 など

NPO法人エコサポートTGAL(ティガル) 理事長 久留 正成

Think Globally Act Locally（地球規模で考え、地域で足元から実践）

活動推進の考え方：環境＝経営＝人づくり＝地域づくり 設立：2003年8月

事業所・家庭・自治体での環境経営・省エネ・ゼロエミッション等の促進と環境人材を育成することにより、地域の環境保全と活性化を目指す、環境経営審査員・エネルギー管理士・電気主任技術者・環境カウンセラー等で構成する環境・エネルギーの専門団体です。

また中小企業診断士・技術士・ISO14001 や ISO9001 審査員・IT コーディネータ等の専門家も多く、ご相談に対応しています。

事務所：鹿児島市長田町 18-36 エフ・リベルテ・ナガタ 1F

(Tel) 099-223-6425 HP: <http://www.tgal.org/>



主な環境活動：環境まちづくり・人づくり（環境の視点で中小企業と地域の活性化）

- ①KES 協働機関活動：KES 構築講座・セミナー・ソサリ・審査・交流・情報発信等
- ②EA21・鹿児島市環境管理事業所の普及：セミナー・ソサリ・審査等
- ③環境教育（事業所・市民・学校）・エコ検定普及・出前講座・自由研究支援等
- ④環境経営・環境改善・環境ビジネス・省エネ・SDGs の支援等
- ⑤環境まちづくり・地方創生の支援等

「環境経営」での変革ステップの支援

- ① 紙・ゴミ・電気・水・自動車燃料・化学物質等環境負荷の削減、グリーン購入
- ② 品質・コスト・安全性・人材育成等生産性向上による環境負荷削減、環境配慮事業
- ③ 生物多様性・自然保護（楽しく面白く活動を推進・差別化・地方創生）
- ④ 人の採用・育成、技術伝承、働き方改革、健康経営、BCP（事業継続計画）、情報発信等
- ⑤ SDGs、RE100、経営計画、経営革新、事業承継、地方創生等